



【発行】

偕行会リハビリテーション病院

医療相談課

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3883 FAX 0567-52-3885

「20周年を迎えて」

当院はこの9月1日に開院20周年を迎えることができました。

この間温かく叱咤激励をいただきながら支えていただいた地域の医療機関の先生方及び関係機関の皆さま方には感謝の一言しかありません。これまで大きなご支援をいただき1つの節目を迎えることができました。

またリハビリテーション専門病院として関係機関の皆様からいただいた指導にも、職員の大きな支えとなっております。当院職員も日々よりよいリハビリ医療を目指して頑張っており、これまでの苦勞に対し感謝するとともに次のステージに向けてともに頑張っていきたいと思っております。

2017年より病院のスローガンを『Support Your Life』としてきました。Lifeの意味としては、医療の本質である「生命」を大切に、リハビリテーションの本質である「生活」を大事に、また多くの関わる方々の「人生」を大切に、との理念を一言で言い表した表現です。当院にとってこの言葉に勝るスローガンを未だ思いつかず、とうとう永年に亘って定着する言葉になりました。この20周年を記念し病院ソング『Support Your Life』を作成いたしました。職員から病院での大切にしている言葉、好きな言葉などを集めて歌詞を作成して曲をつけ、職員有志により院内で録音し編集したものです。今後、皆さまに病院の息吹を感じていただくと幸いです。

最後に当院に関わっていただいた多くの方々、患者様にあらためて深く感謝申し上げる次第です。これを機に職員一同、一層の努力を行っていきます。

院長 田丸 司

開院20周年記念ソング『Support Your Life』

時の川の流れの中 ボクらの船が行く
羽を傷めた鳥たちの 安らぐ場所として
行先に迷っても 確かなコンパスがあるよ
長い長い時を みんなで渡ってきた
雨上がりの虹と 朝日の輝きに 包まれて

Support Your Life いつの日も Support Your Life そばにいて
Support Your Life ささえよう Support Your Life あなたが 羽ばたくように



訪問看護始めました！

今年度 4 月より看護部内に新部署として訪問看護課が立ち上がりました。6 月より本格始動しています。専任スタッフ 3 名を配置し、回復期病院ならではの訪問看護サービスを提供しています。



利用者宅でも部署内でも笑顔があふれています。よろしくお願いします。

訪問看護内容

病状の観察や健康状態の管理

体温、血圧、脈拍を測定し体調管理を行います。

医療処置 清潔ケア

身体を清潔に保ちます。

療養生活の相談、支援

日頃からの不安や疑問にお答えします。

リハビリテーション

回復期病院ならではの
※ ナースリハビリを一緒にいきます。

ケアマネジャーと共に住まいの療養環境の調整と支援

利用者様に合った環境づくりを提案します。

在宅移行支援

退院後からご自宅での生活が安全安楽に行えるよう支援します。

※ナースリハビリとは・・・

利用者の自宅内での生活動作獲得に向けて動作手順の習慣化や発語、嚥下等に関連した生活リハビリを看護師が行います。

お問い合わせ先
0567-52-3883 (代表)
訪問看護課 課長 今井志保

第 12 回コンプリヘンシブ・リハビリテーション懇話会参加

2022 年 7 月 30 日第 12 回コンプリヘンシブ・リハビリテーション懇話会が大阪で行われました。2 年連続オンライン開催でしたが、今年は現地にて開催となり、私は「当院職員における腰痛の実態調査と取り組みの展望」というタイトルで発表しました。

内容は当院職員にアンケートを実施し、回答者の 9 割が腰痛経験者で、8 割が業務中に腰痛を経験していました。結果に対して環境調整からアプローチを試みましたが、腰痛の改善は芳しくない結果となりました。今回の取り組みを通じて、病棟職員と協力して腰痛者の減少に向けた取り組みを継続していきたいと考えています。

また多地域多施設多職種での学術交流を深め、新しいリハビリテーション医療について学ぶ機会となりました。(理学療法士 奥山)



職員へ腰痛体操指導中！



最優秀賞を受賞されました！

当院作業療法士、戸嶋クリニカルチーフが Young Investigator's Award 最優秀賞を受賞されましたのでご報告させていただきます。

「受賞者コメント」

第 61 回日本生体医工学会大会（@新潟）にて、「運動系列学習記憶の定量化による認知機能低下の判別」というテーマで発表し、Young Investigator's Award 最優秀賞を頂きました。この賞は、若手研究者による独創的・萌芽的な研究の奨励ならびに、医学系・工学系の分野を超えた若手研究者間の活発な交流を目的として作られた賞となります。この研究は、認知症の初期段階である Mild Cognitive Impairment (MCI) を早期の段階で発見できる機器開発となります。MCI の早期発見は、認知症への移行を予防する上では重要であり、社会的に求められている内容だと思います。この研究成果は、早期発見の可能性について示すことが出来たと考えます。しかし、まだ研究は途中で。更なる証拠の蓄積、そして機械学習による判別アルゴリズムの構築を目指し、日々研究と臨床に取り組んでいます。そして、研究成果が商品化される様な事があれば皆様に活用頂ければ幸いです。



リハビリ機器の紹介

「mediVR 神楽（カグラ）」導入

mediVR 神楽とは歩行に必要な運動機能と姿勢バランス、認知機能を総合的に評価するため医師の神経科学・行動科学の知見に基づいて開発されたVRリハビリテーション医療機器です。

仮想現実及び三次元空間トラッキング技術を応用し、二重課題型の認知処理能力（考えながら体を動かす）を定量的に評価するものです。主に脳卒中による障害の機能回復を目的として使用しています。



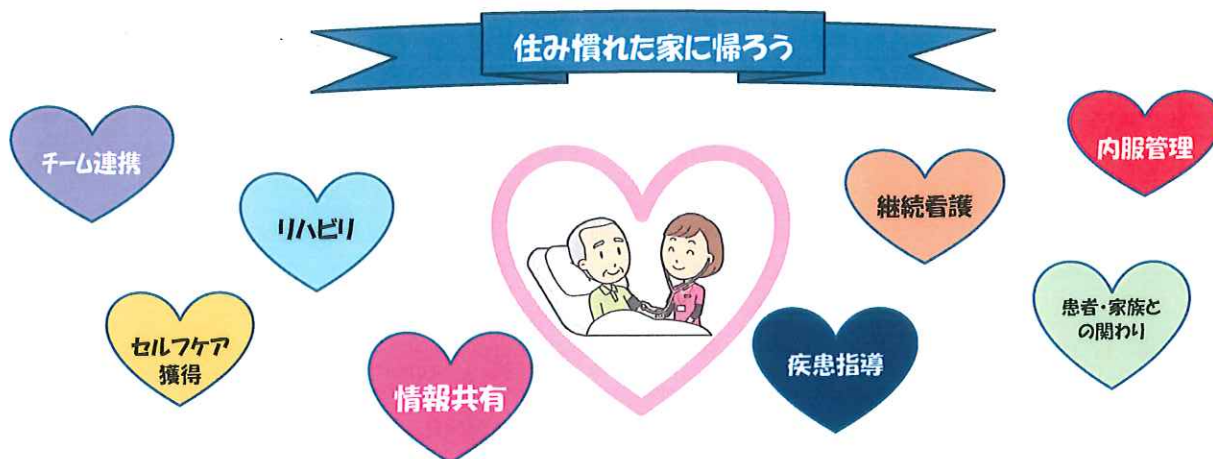
回復期リハビリ認定看護師 vol.2

回復期リハ看護の 3 本柱

看護介護 10 か条
健康の維持管理
セルフケア能力の開発

*看護介護 10 か条とは？

回復期リハ看護の 3 本柱のひとつである、看護介護 10 か条は、食事はデイルームで食べる、日中は普段着で過ごすなど、住み慣れた家に帰るために生活をイメージした看護ケア実践の指標となるものです。



*住み慣れた家に帰るために

回復期では、患者様が住み慣れた家に帰ることを目標としています。そのために、情報共有・多職種連携・患者家族との関わり・セルフケア能力向上・内服管理など、退院後の生活を見据えた看護に力を注いで取り組んでいます。

*患者・家族との関わり方はどうしてる？

自宅に退院した後は、ご家族の協力が必要となります。そのため患者様だけでなく、ご家族との関わりも大切にしています。ご家族の負担を考え、セルフケア能力を向上させることや、健康の維持管理ができるように情報提供や家族指導を徹底しています。回復期リハ認定看護師として、患者様・ご家族やスタッフに対して退院後の生活をイメージして関わるができるよう、退院前の自宅訪問だけでなく、退院後の自宅へ看護師が訪問できるように働きかけ実施しています。

栄養士がおすすめする今日のレシピ！

そうめんとピーマンの肉巻き

＜材料＞

- ・そうめん 0.5 束
- ・ピーマン 2 個
- ・豚肉 4 枚
- ・片栗粉 適量
- ・醤油 大さじ 1
- ・酒 大さじ 1
- ・みりん 大さじ 1
- ・みょうが 2 個（お好みで）



＜作り方＞

- ① そうめんをゆでて水気を切る
- ② ピーマンを縦半分に切り種を取り除く
- ③ ピーマンに①のそうめんを詰める
- ④ 豚肉を広げて片栗粉を振りかける
- ⑤ ③を④で巻く
- ⑥ フライパンに巻き終わりを下にして⑤を並べる
- ⑦ 豚肉が焼けたら調味料の★を入れる
- ⑧ タレにとろみが付いたら火を止めて皿に移し、刻んだみょうがをお好みで乗せて完成



豚肉にはビタミン B1 が含まれています。これが不足すると食欲低下や疲労やだるさを感じやすくなります。

またみょうがの香りには食欲増進の効果があります。

余っているそうめんがある方や食べ飽きた方はぜひ作ってみてください！

しっかり食べて残暑を乗り切りましょう。



食事療法を行っている場合は医師や管理栄養士などに相談しましょう

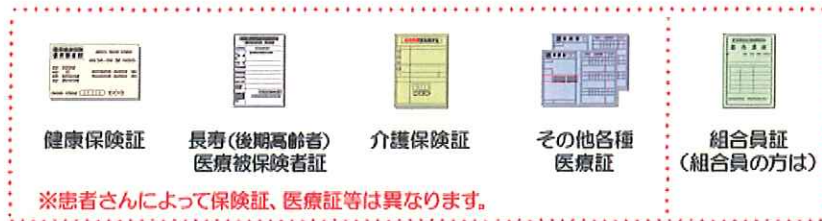
管理栄養士 松本

まきの木

いつまでも暑さが去りやらぬ毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

9月といえば防災月間！！皆さん地震への備えは万全ですか？

生きるために必要な最低限度の飲み水や非常食、病院にかかるために必要な保険証や医療証などのコピーやお薬手帳などなど。今一度、再確認してみたいはいかがでしょう？



今回は、大地震時の透析治療の特集です。

ご存知の方もいるかと思いますが、透析治療では様々なものが必要になるんです。ダイアライザーや血液回路、注射薬などの医療物品、電気やガス・水道などのライフラインが全て整って治療ができるんですよ。

どれかが不足すると、他の施設を探してもらうことになるんです。

1回透析するには、最低でも約 150L、装置の準備や洗浄・消毒などを含めると約 700L もの水道水が必要になるってご存知でしたか？浴槽だと 3.5 杯分、500mL ペットボトルだと 1400 本にもなるんです！驚くほど水が必要になるんですね！

大震災では施設が被災し、どうしても透析出来ない施設が出てしまいます。そのようなとき、透析が出来る施設で、多くの患者さんの治療もしなくてはならないので、透析時間を短くさせてもらうことがあります。

災害は急にやってきます！でも、急に食事やお薬の管理は難しいので、日ごろから心がけておきたいものですね。



透析センター 臨床工学技士 栗田 裕也

【私たちの基本理念】

- 1、患者のための医療を目指します。
- 2、他の医療機関と連携して、地域医療の発展を目指します。
- 3、教育・研究を重視し、職員の自己研鑽に努めます。

医療法人偕行会 偕行会リハビリテーション病院

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3883 (代表) FAX 0567-52-3885

URL <https://www.kaikou.or.jp/riha/>

F B <http://www.facebook.com/riha.kaikou>

